釧路水産試験場所属試験調査船「北辰丸」による、流れの調査結果をお知らせします。(水温観測結果は「北辰丸」および、函館水産試験場所属「金星丸」の結果を使用しています。)

親潮: 親潮とおぼしき流れ(O1:流速 $10\sim20$ cm/s程度(100m深))は根室の沖合にのみ、かすかに見えており、大部分は観測海域の東側で反転していると考えられます(図1、2)。

暖水(えりも以東): えりも以東の大部分は暖水(100m深水温: 7℃以上)に覆われています(図2)。暖水の周辺の流れは、東向きや西向きの流れが入り乱れており(W1,W2)、複雑な海況となっています。

津軽暖流:津軽海峡から暖水(100m深水温:12℃以上)が東向きに張り出しており、海峡東口に東南東向きの流れ(TW1)が見られることから、津軽暖流 は渦モードだと考えられます。

今後の見通し:現在、親潮の勢力は著しく弱めです。12月は最も親潮の面積が縮小する時期なので、今後、親潮の面積が広がるとしても年明け以降になると考えられます。

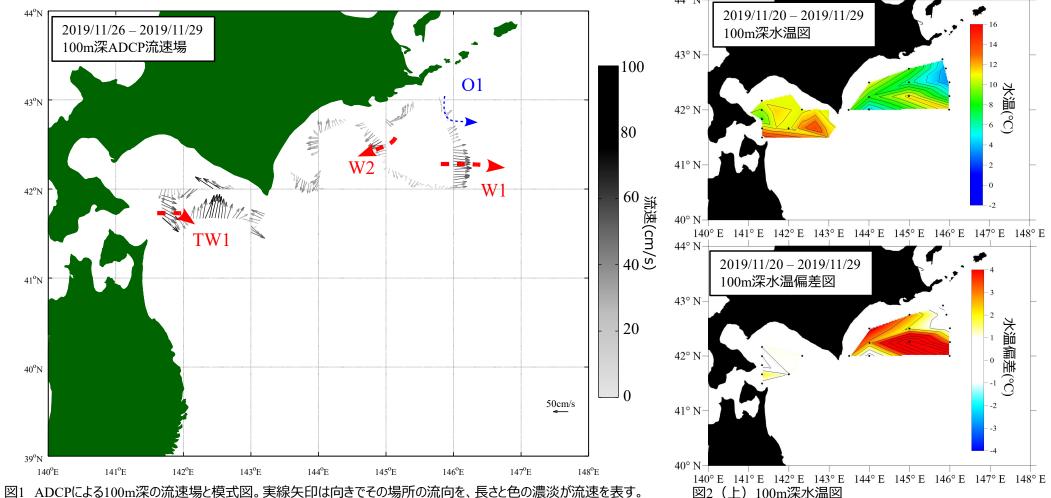


図1 ADCPによる100m深の流速場と模式図。実線矢印は向きでその場所の流向を、長さと色の濃淡が流速を表す 点線矢印は推定された親潮(青)、暖水(赤)の流れの模式図

(下)100m深水温偏差図(1989~2018年平均からの差)